

募集概要

概要	募集人数	博士前期課程 6名(収容定員 12人)／博士後期課程 4人(収容定員 12人)
	取得学位	修士(看護学)／博士(看護学)
	開設時期	2020年4月

学費	博士前期課程、博士後期課程共通 入学金(初年度のみ):200,000円 授業料等(年間):550,000円 <u>初年次納付金(年間/合計):750,000円</u> ※兵庫大学出身者は入学金全額免除。 ※別途諸経費の徴収があります。
----	--

入学方法	試験種別	選考方法
	博士前期	筆記試験(専門科目、英語)、面接試験の総合評価
	博士後期	筆記試験(英語)、口述試験(研究計画等)の総合評価

入試日程 (前期・後期共通)		出願期間	試験日	合格発表
	第Ⅰ期	2019年10月1日(火)～ 10月17日(木)必着	2019年10月27日(日)	2019年11月6日(水)
	第Ⅱ期	2019年11月18日(月)～ 12月2日(月)必着	2019年12月8日(日)	2019年12月14日(土)
	第Ⅲ期※	2020年2月1日(土)～ 2月17日(月)必着	2020年2月23日(日)	2020年2月29日(土)

※第Ⅲ期については、入学定員の充足状況により実施しない場合があります。

試験地	兵庫大学(兵庫県加古川市平岡町新在家2301)
-----	-------------------------

検定料	35,000円
-----	---------

開設記念講演会 参加費無料 先着100名(事前予約制)

兵庫大学大学院看護学研究科 リレー 講義

> 人生の最後をよりよくするために－ケア充実のための人材育成－

日時 令和元年12月21日(土) 14:00～16:00 **講演者** 三徳 和子(兵庫大学看護学部 教授)

> 長寿健康で生き抜くために

日時 令和2年1月11日(土) 14:00～16:00 **講演者** 長尾 光城(兵庫大学看護学部 教授)

> 患者さまの生命の質を考える－スピリチュアルケアの目的と本質－

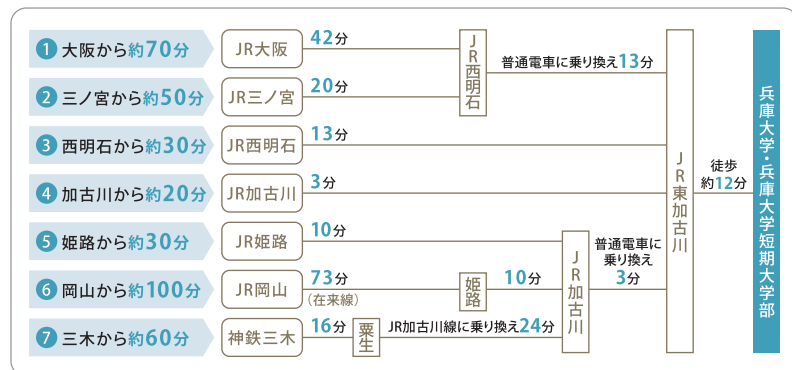
日時 令和2年1月25日(土) 14:00～16:00 **講演者** 窪寺 俊之(聖学院大学大学院 客員教授)

> エンドオブライフにおける意思表示を支援するエンドオブライフケア教育

日時 令和2年2月15日(土) 14:00～16:00 **講演者** 小笠原 知枝(人間環境大学大学院看護学研究科 特任教授)

お問い合わせ先:兵庫大学 学長室 開設記念リレー 講義 係
〒675-0195 兵庫県加古川市平岡町新在家2301 TEL:079-427-9551 FAX:079-427-9552

アクセス・お問い合わせ



※乗車時間は乗り換え、待ち時間を含みません。

お問い合わせ先
入学部 入学課

〒675-0195
兵庫県加古川市平岡町新在家2301
Tel:079-427-1116
E-mail:info@hyogo-dai.ac.jp

最新情報はHPをチェック! /

兵庫大学

※機種によっては読み取れない場合があります。

兵庫大学大学院 看護学研究科

博士前期課程

博士後期課程

令和2年
(2020年)
4月開設



Hyogo University
Graduate School of Nursing
Master's Program in Nursing
Doctoral Program in Nursing

ありがとうございます。
兵庫大学

研究科長

MESSAGE

超高齢社会が持つ複雑多岐にわたる健康ニーズに対応するため、兵庫大学では、大学院看護学研究科(博士前期課程:2年、博士後期課程:3年)を同時にスタートします。看護学研究科では、住民一人ひとりの尊厳を最大限尊重する高い倫理観を養い、QOL(生活の質)およびQODD(死にゆく過程と死の質:Quality of Dying and Death)の向上に資する高度な看護専門職の育成を目指します。学修は学生の主体性を尊重しつつ、看護実践能力・問題解決能力を強化する看護専門科目と、それを支える共通科目を配置します。特別研究では科学的根拠に基づいた看護の新たな「知」を創出し、その「知」を臨床現場に還元し、人々の健康と社会の発展に貢献するとともに、看護の発展に寄与することを目指します。社会人に開かれた学修体制のもと、看護の志を持つ仲間とともに、新たな看護の「知の探究」に参加してみませんか？



Profile 三徳 和子
教授、博士(都市科学)
専門:地域看護学

養成する人材像

[博士前期課程]

01 QOLの向上に貢献し、看護のリーダーとなる人材

エンドオブライフケアを含めた、看護の高度な知識に裏打ちされたケアを提供することで、人々の生活の質の向上に貢献し、看護のリーダーとなることのできる人材を養成します。

02 多職種・多機関と連携・協働し地域住民の健康を支える人材

看護専門職者として、地域の多職種・多機関と連携し協働することで、地域住民の生活を支えるケア体制や保健医療システムの向上に貢献できる人材を養成します。

03 地域の看護管理、教育に貢献する研究ができる人材

看護実践における研究を通じて、地域の看護管理、看護教育、看護研究に貢献できる人材を養成します。

[博士後期課程]

01 看護の課題や、健康問題を解決へと導く人材

看護の専門職として、卓越した専門的知識と包括的な分析能力や研究能力をもって、看護の課題や健康問題を解決に導くことができる人材を養成します。

02 保健医療・福祉に関わる社会システムの構築と発展に貢献できる人材

国内外の多分野の専門家や研究者と協働することを通じて、地域の人々の健康課題の解決に寄与し、保健医療に関係する社会システムの構築と発展に貢献できる人材を養成します。

03 看護学の研究領域を開拓し、看護学の発展に寄与する人材

グローバルかつ多角的、複合的な立脚点から、独創的で卓越した看護研究活動を通じて、看護の新たな研究領域を開拓し、看護学の発展に寄与することができる人材を養成します。

教育研究の特色

「博士前期課程」では看護実践による課題解決力と看護研究の基礎力を養い、「博士後期課程」では学識を活かした専門領域でのリーダーシップと看護学発展のための研究活動能力を培います。

Point
01

社会人の学びやすい 形態での授業

本研究科では、保健医療福祉の場で現職にある看護師や保健師等の社会人が、仕事を続けながら大学院教育を受けられるようにするため、平日の夜間(18:00～21:10)や土曜に授業や研究指導を行う制度を導入しています。また、長期履修制度があり、社会人が授業に参加しやすい形態となっています。

Point
02

参加型授業

博士前期課程では、科学的根拠に基づいて看護実践を遂行し課題解決に取り組む力を備え、看護研究に取り組むための基礎的な能力を身につけるため、授業は、より実践に即した論理的思考および技術を養えるように、参加型授業を基本とし、グループワークをはじめとした演習、フィールドワークなど多様な教育方法を取り入れます。

Point
03

充実した施設

シミュレーション教育では本学の附属機関「地域医療福祉研修センター」を利用します。本施設はコンピュータ制御の模擬患者(シミュレク)を配置した「メディカルシミュレーションユニット」と在宅ケア利用者が暮らす居室、社会福祉施設の入浴室などを再現した「看護・介護研修ユニット」で構成され、病院から在宅への一連の流れを体験できます。

領域

本研究科では「博士前期課程」と「博士後期課程」の両課程ともに同じ方向を見据えて、教育・研究を深化させていくという一貫性と連動性をもたせています。

博士前期課程

専 門 科 目	共通科目
	看護学研究方法、疫学・統計学、看護倫理、看護理論、看護教育、臨床死生学、保健医療福祉学
	基盤看護学領域
	・看護教育管理学 ・長寿科学看護
	看護基盤教育、継続教育、看護管理の現状と課題および、身体の構造・生理的視点からの課題についての教育研究
特別研究	エンドオブライフケア看護学領域
	・エンドオブライフケア看護学
	エンドオブライフ期患者のケア、家族のケアにおいてQOL及びQODDの向上を目指した看護理論の構築などの教育研究
	生涯発達看護学領域
特別研究	・成人・老年看護学 ・母性・小児看護学
	人の生命の誕生からエンドオブライフ期までの生涯を通じた人の発達過程のケアと課題を包括的に促える教育研究
	広域看護学領域
特別研究	・精神看護学 ・在宅看護学 ・地域看護学
	地域で生活する個人と集団を対象に健康ニーズを把握し、他職種との連携・協働など、包括ケアシステムの構築に関する教育研究

博士後期課程

専 門 科 目	共通科目
特別研究	看護学研究方法、応用統計学、保健医療福祉政策
	エンドオブライフケア看護学領域
	・エンドオブライフケア看護学
特別研究	エンドオブライフケアに関する理論開発、ケア評価の尺度開発、教育プログラム開発・検証、ケア介入や教育介入研究の独創的な探究に向けての教育研究
	生涯発達看護学領域
特別研究	・生涯発達看護学
	ライフサイクルの特徴を踏まえ、QOLの向上に向けたケア開発と評価、プログラム開発と評価等を独創的に研究し、提言する教育研究
特別研究	広域看護学領域
	・在宅看護学 ・地域看護学
特別研究	複合的かつ広域な視点から、QOL及びQODDの向上に向けたケアシステムのプログラム開発や、ソーシャルキャピタルの醸成を独創的に探究し、提言する教育研究